

音響テクニカル・アーティスト科

(昼間部・3年制)

シラバス

全設置授業科目数	67	うち実務教員授業科目総数	48
全設置授業時間数	2814	うち実務教員授業時間数	1878
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業科目数			10
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業時数			274

1 年次 音響テクニカル・アーティスト科 【1 T A】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
共通科目	基礎知識習得トレーニング	30	4	2	芹 沢 ほ か					講義
	ビジネス基礎講座	8	8	1	芹 沢 ほ か					講義
	音 響 用 語	28		1	楠 元 ほ か	○	28			講義
	音 響 概 論	16		1	原 田	○	16			講義
	電気電子の基礎	16		1	末 永	○	16			講義
	電気音声信号		16	1	照 井	○	16			講義
	音 響 機 器 I	22		1	照 井	○	22			講義
	音 楽 史	32		2	松 山	○	32			講義
	舞台機構講座	8	16	1	見 上 ・ 吉 井	○	24			講義
	映像音響検定講座		16	1	永 谷	○	16			講義
	効果音制作		20	1	石丸・吉井・金子(●)	○	20			講義
	動画音声制作概論	8	8	1	染谷・山田	○	16			講義
	演習企画立案/シナリオ	8	8	1	見 上	○	16			演習
	パッケージメディア研究	15	15	2	見 上 ・ 塩 田	○	30			講義
	英 語	20		1	コールマン					講義
	演習音響工作	24		1	下 久 保	○	24			演習
	演習機器オペレーション I	32	8	2	芹 沢 ほ か					演習
	演習機器オペレーション II	12	12	1	波多腰・溝淵					演習
	実 習 音 響 実 技	36		1	波 多 腰	○	36			実習
	O n g e i 実 技 判 定	10	10	1	芹 沢					演習
	演習クリエイティブソフトウェア実技 I	28	32	4	楠元・波多腰	○	60			演習
専門科目	照 明 概 論	16		1	赤 本	○	16			講義
	聴 能 形 成	8	8	1	見 上	○	16			講義
	音 場 入 門 I		18	1	中 原	○	18			講義
	演習ダビングミックス		32	2	波 多 腰	○	32	☆	32	演習
	音 響 機 器 II		16	1	楠 元	○	16			講義
	スタジオ実技判定		16	1	芹 沢 ほ か					演習
	演習レコーディング技法		20	1	波 多 腰	○	20			演習
	P A シ ス テ ム	16	16	2	金子(峻)・福西ほか	○	32	☆	32	演習
	音響機器実技判定		16	1	近 藤	○	16			演習
	演習ホール S R I		16	1	加 藤	○	16			演習
	演習ステージ課題制作		64	4	吉井・芹沢	○	64			演習
	電 気 音 響	8	8	1	田 村	○	16	☆	16	講義
総合・その他	ライブ制作インターンシップ		16	1	各 担 当	○	16			実習
	研修オリエンテーション	4			各 担 当					講義
	演習音芸オリエンテーション I	30		2	各 担 当					演習
	演習プロモーション音源制作 I	8	8	1	見 上 ほ か	○	16	☆	16	演習
	企 業 研 究	2	2		進路指導部					講義
	ワークガイダンス	2	4		各 担 当					講義
	企業インターンシップ	8	8	1	各 担 当					実習
合計	ガイダンス	12	8		芹 沢					講義
	合 計	467	449	50		666	96			

2 年次 音響テクニカル・アーティスト科 【2 T A】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
共通科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論	16		1	巻島・磨知 田中・加島	○	16			講義
	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ	28		1	永谷・波多腰 高橋(喜)	○	28			演習
	映 像 制 作 概 論	16		1	港	○	16			講義
	映 像 音 響 検 定 講 座 Ⅱ	16		1	永 谷	○	16			講義
専門科目	音 場 入 門 Ⅱ	34		2	中 原	○	34	☆	34	講義
	立 体 音 響 演 習	32		1	中原・染谷	○	32			演習
	演 習 マ ス タ リ ン グ	16		1	森 崎	○	16	☆	16	演習
	演 習 M A	32		2	内 村	○	32			演習
	実 習 映 像 音 響 制 作	60		2	水野・高橋(喜)	○	60			実習
	演 習 マルチトラックレコーディング	22		1	楠 元	○	22	☆	22	演習
	演 習 スタジオレコーディング	16		1	塩 田	○	16			演習
	P A シ ス テ ム Ⅱ	24		1	小 松	○	24			演習
	演 習 ホ ー ル S R Ⅱ	26		1	大 坪	○	26			演習
	演 習 機 器 オ ペ レ ー シ ョ ン Ⅲ	24		1	高橋(喜)ほか					演習
	演 習 プロモーション音源制作Ⅱ	8	8	1	見 上 ほ か	○	16			演習
総合・その他	演 習 音 芸 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	30		2	各 担 当					演習
	ビ ジ ネ ス 実 務	16		1	高 橋 (喜)					講義
	卒 業 制 作	32	560	25	高 橋 (喜)					実習
	ガ イ ダ ン ス	8	8		高 橋 (喜)					講義
	合 計	456	576	46		/	354	/	72	

3年次 音響テクニカル・アーティスト科 【3TA】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
専門科目	実 習 ラ イ ブ レ コ ー デ ィ ン グ	60		2	見 上 ・ 楠 元	○	60	☆	60	演習
	音 響 コ ー チ ン グ 演 習	32		2	楠 元	○	32			演習
	実 習 課 題 レ コ ー デ ィ ン グ	16		1	楠 元	○	16	☆	16	演習
	実 習 課 題 ミ ッ ク ス ダ ウ ン	30		1	楠 元	○	30	☆	30	演習
	ポ ー ト フ ォ リ オ 制 作	240		8	楠 元	○	240			実習
	研 究 課 題 制 作	60	420	16	楠 元	○	480			実習
その他・総合	ガ イ ダ ン ス	4	4		楠 元					講義
	合 計	442	424	30		/	858	/	106	

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	基礎知識習得トレーニング				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	34	単位	2
担当教員	芹沢恵里奈ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	履修科目のうち特に専門性の高い分野や学問的知識の必要となる内容の各種基礎知識について学ぶ。						
到達目標	これから学ぶ履修科目の内容の中で必要となる専門知識の基礎を築く。						
授業計画 学習内容	・ 数学（中学・高等学校基礎数学の復習） ・ 電気（中学・高等学校基礎数学の復習） ・ 物理（音響分野関連の基礎物理知識） ・ PC関係（基礎システム、用語等） ・ 音楽（読譜、楽典等） ・ 一般教養						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	ビジネス基礎講座				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	芹沢恵里奈ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	社会人として他人とのコミュニケーションを円滑に行える能力を鍛える。						
到達目標	実社会や就職活動において役立つビジネスマナー、文章読解力、及び文章作成力を身につける。						
授業計画 学習内容	・ 会話における正しい表現や意味、敬語・謙譲語等の学習。 ・ テーマに即した意見文やレポート、メールを書けるようになる。 ・ 就職活動時自己PRの作成方法。 ・ メールや電話での言葉使いなど、ビジネスマナー。						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題の提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	音響用語				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	28	単位	1
担当教員	楠元剛史ほか		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	レコーディングスタジオで使われている技術用語を中心に、音響業務従事者の使う用語について、原理を含めて易しく解説を行う。						
到達目標	専門用語を知る。同じ用語に違う意味があることを知る。厳密な記憶ではなく概要をアバウトにとらえる。						
授業計画 学習内容	・ マイクロホンと收音技術に関する用語 ・ ミキシングルームで日常使っている技術用語 ・ マルチチャンネル録音に関する用語 ・ サウンドエフェクタの基本原理と機能に関する用語 ・ デジタル技術に関連する基礎知識と用語						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	音響概論				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	原田 崇		担当教員 実務経験	元ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株)セールスエンジニア。音響機器メンテナンスの経験豊富。			
授業概要	「音とはなにか」をテーマにその学術的知識を深める。						
到達目標	音の特性について学術的（物理的概論）に理解する。						
授業計画 学習内容	・音の大きさ、速さ ・周波数、音色 ・特性定位 ・反射、回折、屈折 ・音の理論 ・音の出る仕組み						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	電気電子の基礎				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	末永信一		担当教員 実務経験	SONY(株)にてリサーチャー、エンジニアとして長年勤務。現在は（一社）日本オーディオ協会専務理事			
授業概要	本校実習授業でも扱う音響映像機器の動作に必要な「電気」とは何かを知る。						
到達目標	電気電子の基礎知識を習得すると共に、問題意識を持って動作の想像力を養う。						
授業計画 学習内容	・ オームの法則 ・ 直流、交流について ・ 絶縁体、誘導体、半導体について ・ アナログとデジタル ・ 映像、音声について						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	電気音声信号				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	電気、回路、機器についての学術的知識を深める。						
到達目標	電気、回路、機器についてより高度な内容を学び、各専門科目に応用できる知識を習得する。						
授業計画 学習内容	・ オームの法則 ・ アース/接地 ・ 補助記号 ・ 平衡と不平衡 ・ インピーダンス ・ 電気部品、パーツ ・ 音響回路 ・ ダイナミックレンジとSN（シグナル・ノイズ比） ・ 各種レベルメーター						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	音響機器Ⅰ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	22	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	音響業務で使用する機材について学ぶ。						
到達目標	音響機材の仕組みや構造を業務レベルで理解できるようになる。						
授業計画 学習内容	・スピーカーシステム ・ミキシングコンソール ・マイクロホン ・パワーアンプ それぞれの音響機器の仕組み・構造・設計・ブロックダイアグラムの見方等						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	舞台機構講座				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	24	単位	1
担当教員	見上陽一郎 吉井真		担当教員 実務経験	映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。(吉井)、舞台機構調整技能1級技能士(見上)			
授業概要	劇場、ホールの技術スタッフに必要な知識を身につけるとともに、舞台技能調整技能士3級筆記試験の模擬試験に取り組む。						
到達目標	舞台機構調整技能検定3級筆記試験の合格						
授業計画 学習内容	●音響、照明、舞台装置などの舞台機構解説 ●舞台機構調整技能検定3級筆記試験の過去問題集、1～3級レベルの模擬問題集への解答と解説						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	効果音制作				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	石丸耕一 吉井真 金子智充		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画学習内容欄に記載			
授業概要	効果音の役割・使い方・作り方						
到達目標	制作実習・卒業制作で台本を読み解き、効果音を制作できるようになる						
授業計画 学習内容	●効果音の役割と使い方と作り方の説明。台本の読み解き方・演出をシュミレートする。 担当：吉井 実務経験：映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。 ●効果音の作成方法について。レクチャー後は学生が実際に効果音を作成し、録音したコンテンツを試聴してみる。 担当：石丸 実務経験：舞台音響家として歌舞伎座、新橋演舞場などで伝統芸能や商業演劇の音響に従事。東京芸術劇場統括。 ●ゲームの効果音について。サウンドデザインの企画や演出、ゲームサウンドの制作行程について実務経験をもとにレクチャーする。 担当：金子 実務経験：ゲームコンテンツ制作会社でサウンドデザイナーとして勤務。						
成績評価 方法	100点を満点とし、演習評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	動画音声制作概論				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	染谷和孝 ほか		担当教員 実務経験	サウンドデザイナーとして多くの映画・ゲーム作品のサラウンド音響を手掛ける。(染谷)			
授業概要	サウンドデザインの起源を知り、クリティカルリスニングについて考察する。 現場でのサウンドデザイン・効果音制作を学び、フィルムスコアーとその役割についても考える。						
到達目標	そもそもサウンドデザインとは何かを考え、映像付随の音楽・音響について新たな地平を見据えて行く。						
授業計画 学習内容	①サウンドデザインの起源とその意味 ②「クリティカルリスニング」からの見えてくるもの ③実際のサウンドデザインとは？効果音制作の基礎① ④フィルムスコアーとその役割 ⑤実際のサウンドデザインとは？効果音制作の基礎② ⑥Foley概要と制作方法の基礎						
成績評価 方法	100点を満点とし、演習評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 企画立案／シナリオ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	制作会社にて万国博上映動画の企画制作、音楽 ライブイベントの企画制作に長年従事			
授業概要	企画の立て方、企画書作成法、様々な媒体によるシナリオフォーマットについて学ぶ						
到達目標	企画立案、企画書作成、シナリオ作成とシナリオの読み解きができるようになる						
授業計画 学習内容	●企画や企画書はなぜ必要か ●ブレインストーミング演習 ●企画の5W1H ●企画書作成演習 ●シナリオの各種フォーマット ●シナリオ作成演習（動画、音声ドラマ）						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	英語				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	20	単位	1
担当教員	ブレット コールマン		担当教員 実務経験	—			
授業概要	簡単な英会話、英語の聞き取りを反復的に演習						
到達目標	英語に対する苦手意識を軽減し、制作現場で英語でコミュニケーションを取る勇氣と自信を醸成する						
授業計画 学習内容	●英語での自己紹介 ●簡単な会話の聞き取りと意味、文法解説 ●英語楽曲のディクテーション 担当講師紹介： 米国シアトル出身、来日後３５年にわたり俳優英語教師として活動						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記および実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科			系列	共通科目		
授業科目	演習 音響工作			授業方法	演習		
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	下久保将人		担当教員 実務経験	音響・映像に関わる多くの設備工事に10年以上携わる。			
授業概要	音響・映像設備で使われている、ケーブルやコネクタの知識を身に着ける。						
到達目標	XLRコネクタ・TRSコネクタの正しいピンアサインを知り、テスターでチェックが出来るようになる。 可能であれば端末も出来るようになる。						
授業計画 学習内容	・一回目： 設備におけるケーブル・コネクタについて。 ・二回目： テスターの使い方。電池について。機材のマウント方法。 ヘッドホンの解体・組み立て。 ・三・四回目： ユニバーサル基板のハンダ付。ケーブルへのコネクタ付。 コネクタ外し。 ・五回目：テスト 内容は、XLR3Pinオス－XLR3Pinメス一本作成と テスターでの自己チェックをして提出。 評価はその授業時間内にて。 番外編：簡易スピーカーを作ってみる。						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅠ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	40	単位	2
担当教員	芹沢恵里奈ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	各実習に先立ち、基本的な音響機材の名称や使用法を学ぶ。（前半） 遠隔講義、座学、各演習で習得した技術を実践する。（後半）						
到達目標	基本的な技術の習得と実践を通し、学生の自主性、コミュニケーション能力を鍛える。						
授業計画 学習内容	（前半） ・ ケーブル、コネクタ、端子等の名称 ・ ケーブル巻き ・ 音響卓の使い方 ・ マイクスタンドの扱い方 ・ 回線チェックのやり方 ・ エフェクターの使い方 （後半） ・ 学内実習施設での演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅡ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	24	単位	1
担当教員	波多腰英靖 溝淵友香莉		担当教員 実務経験	—			
授業概要	学内実習教室の使用法説明						
到達目標	学生が主体となり安全な学内実習施設の使用を目論む						
授業計画 学習内容	・LiveQ教室（演劇・ミュージカルの音響および照明技術等実習教室）説明 ・本館801教室（音楽イベントの音響および照明技術等実習教室）説明 ・本館9Fスタジオ（音楽レコーディング等実習スタジオ）説明 ・メディアセンター地下スタジオ（映像音響等実習スタジオ）説明						
成績評価 方法	授業への積極的な参加・出席状況にて評価し単位を付与						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	実習 音響実技				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	36	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。			
授業概要	音を聞く、收音する、記録する、編集する といった基礎的な音響作業の習熟						
到達目標	音のモニタリング能力を開拓 フィールドワーク機器を用いた録音作業の習得 ノンリニア編集による作品作成過程の習得						
授業計画 学習内容	各作業におけるモニタリング ・音のモニタリングについて サウンドドラマ素材のためのロケ実習 ロケを通じた收音、録音作業習得 ・マイクロホン使用法 ・レコーダー使用法 ・ロケ実習 ProToolsを用いた音源制作作業 ・音源制作実習						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品提出課題と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	Ongei実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	芹沢恵里奈		担当教員 実務経験	—			
授業概要	基礎的音響作業の習熟を図る。各項目の作業習得のため反復練習を行う。						
到達目標	音響作業に共通する初歩的動作の習得 3級舞台機構調整技能士実技試験への準備						
授業計画 学習内容	ケーブル巻き(8の字)習得 マイクスタンドの実務的活用を習熟 各種チェック作業の習得						
成績評価 方法	実技判定試験により100点満点で採点						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅰ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	60	単位	4
担当教員	楠元剛史 波多腰英靖		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画欄に記載			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る						
到達目標	コンピューター環境でのデータ管理習熟 ProToolsを用いた録音、編集、ミックス作業の習得						
授業計画 学習内容	Apple製デスクトップコンピューターでのデータ管理方法演習 ProToolsを用いて演習課題へ取り組む ・ProToolsData構築 ・ProToolsでの録音作業 ・ProToolsでの編集作業 ・ProToolsを用いての課題提出 担当教員の实務経験： ・2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。（楠元） ・年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。（波多腰）						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出や授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	照明概論				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	赤本龍太		担当教員 実務経験	長年に渡り、ライブハウスの照明技術、音楽ライブ・演劇の照明デザイナーとして活躍。			
授業概要	ライブ照明と舞台照明の違いの説明、及び照明機材、灯体の説明。 遠隔講義での学習内容を踏まえ、実際に機材を使ってオペレーションをする。						
到達目標	照明機材の名称、使用法を理解し、場面に合わせたオペレーションを考えることができる。						
授業計画 学習内容	遠隔講義 ・ 照明技士の仕事、現場における役割 ・ 仕込みの手順説明 ・ 灯体の種類、照明機材の分類、設置位置による名称 実演 ・ ライブ、舞台による照明アプローチの違い ・ ライブ照明用指示シートの読み方、書き方 ・ 舞台台本の照明デザイン ・ 照明卓の操作説明						
成績評価 方法	100点を満点とし、提出物および出席点などの総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	音場入門Ⅰ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	18	単位	1
担当教員	中原雅考		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役			
授業概要	音という物理現象を学ぶための基礎を学ぶ						
到達目標	オブジェクト臨場感、フィールド臨場感を意識した 3Dシーンベースのミックスを作る						
授業計画 学習内容	01. 音とは？ 02. 音波の基本要素 03. 音場を構成している物理現象 04. 音場再現（Ambisonics） 05. 音場再現実習１：ReaperとAmbisonicsプラグインの基礎知識 06. 音場再現実習２：FOAエンコーディング（Ambisonics録音） 07. 音場再現実習３：FOAデコーディング（3Dミックス）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ダビングミックス				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	32	単位	2
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士			
授業概要	「生もの」としての音を認識し 「生ものとしての音」を扱うことに慣れる						
到達目標	サンプラーを用いてリアルタイムでの音響作業を体験する						
授業計画 学習内容	課題台本からの作品理解演習 サンプラー操作の習熟 ・SP404オペレーション ・abletonLive運用 サンプラー素材作成実習 ・ProToolsを用いた素材作成 発表形式でのダビングミックス						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品発表と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	スタジオ実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	芹沢恵里奈ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	本館9Fスタジオを使用し、音楽録音スタジオ設備や機材に関する理解を深める。音声信号の流れを理解する。ストレートトークの収音を想定し、セッティングから回線チェックまで一人で行えるようトレーニングする。						
到達目標	本館9Fスタジオにて一人でストレートトーク収音を想定した機材準備、回線チェックができる。						
授業計画 学習内容	・機材説明と現場の実際 ・音響技術業務における作業の流れ ・セッティングの基本 ・回線チェックのやり方						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験にて評価。60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 レコーディング技法				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士			
授業概要	物理現象を電気信号に変換することについての理解を深め、マイクへの理解を深める 声の録音(収音) 楽器の録音(収音)						
到達目標	学生が主体となつてのマイク選定、マイクセッティングを目標とする						
授業計画 学習内容	マイクロホンの特徴理解のための実験 ・ 型番、構造的特徴、指向性 録音スタジオでの模擬ラジオ番組制作 ・ 音声収録実習 ・ リアルタイムプログラムの録音 ピアノ録音 ・ 楽器収録演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	PAシステム				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	32	単位	2
担当教員	金子俊士 福西夏未ほか		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画欄に記載			
授業概要	P Aシステムのプランニングのために必要な知識、具体例を学ぶ。学内でのP A実習を行う時に必要なプランニングが出来るように実際に図面を作成し、理解修得する。						
到達目標	仕込む際の工夫・注意点、トラブル時の対処を身を以て体感し、理解を深める。						
授業計画 学習内容	・ PAの仕事 ・ 回線表の見方 ・ セット図の見方 ・ 回線プラン ・ 信号の流れ ・ ステージ仕込み ・ 回線チェック ・ ミキサーから音を出す ・ 自分のプランで仕込む 担当教員の实務経験： ・ (有) iNOXサウンドデザインにてコンサートPA務や配信業務に携わったのち、現在はフリーランスエンジニアとして多岐にわたる音響業務を担当（福西） ・ (株) ヴァーゴ、(株) ムーブオンを経て、現在はフリーランスエンジニアとして音響業務を担当（金子）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	音響機器実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	制作や舞台などの現場を経て、バンケットの音響・照明・映像・配信・設備管理実務に従事。2級舞台機構調整技能士。			
授業概要	舞台機構実技判定 3 級実技試験に向けた基礎訓練						
到達目標	舞台機構実技判定3級実技試験に合格できるようになる						
授業計画 学習内容	・ 班別（少人数）での個別指導 ・ 実技全体の流れを練習 1.仕込み 2.回線チェック 3.ナレーター案内（3～5のコミュニケーション） 4.サウンドチェックリハーサル 5.本番 6.ばらし/原状復帰						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ホールSR I				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	加藤晴美		担当教員 実務経験	(株)キャット、(株)クレア・ジャパンを経て 1998年に（有）ハルソニックを設立。			
授業概要	実践的なP Aについて機材に触れながら学ぶ。 学外施設を使用し、機材の搬入・設営・撤去・搬出を学ぶ。						
到達目標	ホールでの音響機材使用について体験し、理解を深める。						
授業計画 学習内容	・スピーカーチューニング ・プランニング ・コンソールの結線と使用方法 ・舞台での搬入から搬出まで ・大型機材の設置 （スピーカの設置、客席へのコンソール設置）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ステージ課題制作				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	64	単位	4
担当教員	吉井 真 芹沢恵里奈		担当教員 実務経験	映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。（吉井）			
授業概要	プロの役者と共に、学生の照明と音響と舞台スタッフで舞台を作る						
到達目標	舞台制作の進め方を体験する						
授業計画 学習内容	●数班に分かれ、音響・照明・舞台スタッフを構成する。 ●プロの演出家と役者とともに、 打ち合わせ～ 稽古～ LiveQ仕込み～ 場当たり～ ゲネプロ を実践してみる。 ●プロと言葉を交わし、舞台制作に必要な段取りやコミュニケーションや照明・音響の知識・技術の必要性を感じさせる。						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	ライブ制作インターンシップ				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	音響会社／ライブハウスでの実務経験5年以上の技術者			
授業概要	提携先ライブハウスや音響会社における就業体験						
到達目標	大規模音響システム設営／オペレート現場の就業体験、ライブハウススタッフとしての就業体験を通じて、現場の実態を知るとともに、またスタッフとしてのコミュニケーションスキル／操作スキルの向上を図る						
授業計画 学習内容	1. 提携先担当者からの就業体験概要説明 2. 大規模コンサート現場、ライブハウスイベントにおける現場就業体験						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	研修 オリエンテーション				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	4	単位	—
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	学内教員による講話とオリエンターリングによる新入生交流						
到達目標	専門学校で学ぶにあたっての心構え醸成と、新入生の交流促進						
授業計画 学習内容	1. 学内教員による講話 2. クラス／班に分かれて、学校周辺のオリエンターリング 3. レポート作成						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	演習 音芸オリエンテーションⅠ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	30	単位	2
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	1・2年生合同の班編成で各コンテンツをローテーションで受講する。(コンテンツ内容及び担当教員は授業計画学習内容参照)						
到達目標	・学年、学科の枠をこえて学内で学生同士がつながりを持てるようにする ・先輩、後輩間に「教え・教えられ」の関係が生まれるきっかけの場の提供 ・多様なコンテンツを通じて音響技術、技能習得へのモチベーションを高める						
授業計画 学習内容	見上…『エコーチェンバー』教室を使って反響音を作り出す 楠元…『ビートメイク』身近な音を加工、編集してビートを作ってみる 波多腰…『テーブルコーダー』オープンリールの操作、録音、再生を体験☑ 高橋…『タテ動画+アフレコ』動画撮影してアフレコ 溝淵…『ライブハウス∞体験』音響、照明、出演の体験 近藤…『吹奏楽比較試聴』コンクールの演奏を聴き、違いについて話し合う 芹沢…『Live2D制作』Live2Dを使って静止画を動かす体験						
成績評価 方法	100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	演習 プロモーション音源制作Ⅰ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	見上陽一郎ほか		担当教員 実務経験	1995年より多数のクラシック音楽を録音			
授業概要	国内外の音楽コンクール用審査音源の収録、ミックス						
到達目標	良好な演奏を引き出すための演奏家とのコミュニケーション、機器の設営／操作への習熟、音の聴き分け能力育成						
授業計画 学習内容	1.演奏家との打ち合わせ 2. 収録システム案の作成 3. 収録機器の設営 4. リハーサル時間を利用した音調整 5. 収録本番 6. 必要に応じて編集、マスタリング／オーサリング作業 7. 納品						
成績評価 方法	100点を満点とし、授業への取り組みおよび出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	企業研究				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	4	単位	—
担当教員	進路指導部		担当教員 実務経験	—			
授業概要	本学の学生が興味を持つような、音響や照明、レコーディング、マスタリング関連会社の関係者を招き、特別講義をしていただく。						
到達目標	本学学生の就職目標となる各業種の職種やその職務内容を知り、自己の適性やその職種を目指すための学習計画や心構えを構築する。						
授業計画 学習内容	・音楽コンテンツ技術制作関連企業関係者による講義 ・舞台技術制作関連企業関係者による講義 ・放送技術制作関連企業関係者による講義 ・専門機器取扱い企業やメーカー企業関係者による講義 ・企業訪問 音楽録音スタジオ 映像編集スタジオ PA技術会社 劇場／ホール 等						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ワークガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	6	単位	－
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	－			
授業概要	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
到達目標	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
授業計画 学習内容	1. コンサート／演劇音響 2. レコーディングエンジニア 3. 放送音声（音声収録／音響効果選曲／MA） 4. 映画音響 5. 動画撮影 6. 動画編集 7. 舞台照明／舞台装置 8. 制作／演出						
成績評価 方法	－						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	企業インターンシップ				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	在学中の学生を一定期間、企業、団体に研修生としてお預けし、実務経験を踏ませる						
到達目標	実務経験を通じて、業界の現状を肌で知るとともに、社会人として自立するための心構えを醸成する。						
授業計画 学習内容	1.派遣先担当者との打ち合わせ 2.派遣先担当者からのブリーフィング （企業、団体の業務内容、インターン生の活動内容やルール等に関する説明） 3.指定された期間、場所での現場就業体験						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	巻島英司 磨知 隆 田中有香 加島貴彦		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載			
授業概要	プロフェッショナルとしてエンタテインメント業界の様々なコンテンツ制作に携わる講師による講話						
到達目標	エンタテインメント業界の様々なコンテンツに対する理解を深める						
授業計画 学習内容	●広告制作/TVコマーシャルの企画、制作までの流れ・演出手法等。 担当：巻島（広告会社クリエイティブ・ディレクター。多くの企業CMを担当。全日本CMフェスティバル等受賞歴多数。） ●ミュージックビデオ制作/ミュージックビデオ制作プロデュースとは・制作現場や運営の流れ・撮影から編集までの制作技法等。 担当：磨知（音楽番組専門局のスペースシャワーを経て、現在（株）629代表取締役社長。多くのPVやライブ映像の制作技術全般のプロデューサー及び統括を行う） ●映像音響制作の流れ /MAについて（編集、整音、収録、ミックス等）。 担当：田中（1993年よりMA(映像音響)に従事。2003年に(有)サルミックス設立。） ●映像制作 /放送・イベント・コンサートにおける新しい映像コンテンツの制作演出手法について（プロジェクションマッピング、CG等）。 担当：加島（映像プロデューサーとしてMV、TV-CM、Web動画等多くの作品を手がける。）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	28	単位	1
担当教員	永谷喜美雄 波多腰英靖 高橋喜郎		担当教員実務経験	担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る						
到達目標	・ AdobeCCの各アプリケーションでの作業習熟 ・ ProToolsを用いた作業、特にMA作業の習熟						
授業計画 学習内容	●Adobeプレミアを用いた映像編集／ソフトウェア使用法、作品・演出意図に合わせた編集法、画質調整、テロップ・エフェクト技法等 担当：永谷（(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。） ●Adobeフォトショップ・イラストレーターを用いた画像編集/ソフトウェア使用法、写真加工・色調整、描画法、テキストの扱い方、画像サイズ管理等 担当：高橋（(有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集、プロモーションに従事。） ●ProToolsでのMA作業/音声の取込み、音声ファイル管理、整音技法等 担当：波多腰（2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。）						
成績評価方法	100点を満点とし、実技試験、作品提出、ならびに、授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	映像音響検定講座Ⅱ				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	永谷喜美雄		担当教員 実務経験	(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。			
授業概要	映像・音響検定試験合格を目標に、極力身近な機材の話や実際のＴＶ番組制作の過程を折り込みながら興味深く解説をしていく。						
到達目標	検定試験受検者は資格取得。試験問題演習を行い、映像音響技術者に必要な知識を身につける。						
授業計画 学習内容	・ＴＶの原理／色彩と色温度。磁気記録の原理／ＳＤＴＶとＨＤＴＶ ・ＶＴＲのフォーマットとビデオ信号の種類，デジタルビデオとアナログビデオの違い ・ビデオ編集の実際（合成などを含めて） ・ＴＶ番組，ビデオ作品の制作過程（編集を中心に）						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	音場入門Ⅱ				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	34	単位	2
担当教員	中原雅考		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役			
授業概要	音場入門Ⅰの内容を踏まえ、物理音響に関する知識と理解を深める。						
到達目標	バーチャル38chスタジオをDAW(Reaper)の中につくり HOA（Higher Order Ambisonics：高次アンビソニック）で 3Dミックスを行う。室内の残響時間を測定し室内音響チャートを作成する。						
授業計画 学習内容	01. 仮想38chスタジオでの3Dミックス（概説、Reaper操作、実習） 02. デシベルの足し算 03. 二重音源（音響ダブレット） 04. 距離減衰と空気吸収 05. 鏡面反射，拡散反射 06. 吸音 07. 部屋の響きとは？ 08. 響きの重畳とインパルス応答 09. 幾何音響学 ～中域の世界～ 反射と位相干渉 10. 統計音響学 ～高域の世界～ 残響理論 11. 波動音響学 ～低域の世界～ モードと低域特性						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 マスタリング				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	森崎雅人		担当教員 実務経験	長年マスタリングエンジニアとして従事。 TinyVoice,Rproductionチーフエンジニア。			
授業概要	音楽制作者の音の聴き方とリスナーの音の聴き方のちがいを理解したくさんの聴き きらべの実習を通して「ちがいが分かった」という体験をしてもらう						
到達目標	音楽を楽しんで聴くのではなく観察するように聴くという音楽制作者の音の聴き方 の基本を修得する						
授業計画 学習内容	・音楽制作者とリスナーの音の聴き方の違い ・リファレンス音源の選び方と使い方 ・モニタースピーカーの正しい置き方 ・GEQで帯域の特徴や楽器について理解する ・パラメトリックイコライザー.コンプレッサー.リミッターの 基本と演習のプロとしての使い方のコツやヒントを伝授 ・総合演習でマスタリングのプロセフト音を仕上げる楽しさむずかしさを 体験を通して学ばせる ・それぞれの学生の個性を活かしての授業 ・お互いの音を比較しながら音を表現する ・言葉の大切さコミュニケーションのきっかけなども学ばせる						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与す る。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 MA				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	32	単位	2
担当教員	内村和嗣		担当教員 実務経験	元NHKの音響技術者として勤務。スタジオ シエロフルソ。			
授業概要	「MA」という仕事を知る。 MA作業を行う際の心構えを知る。						
到達目標	活きた音を扱う気持ちを携える。						
授業計画 学習内容	・ MAとは ・ MA作業の流れ ・ MA作業で使用する音響機器 ・ MAとサウンドデザイン ・ 映像作品での音の演出 ・ 活きた音とは						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	実習 映像音響制作				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	60	単位	2
担当教員	水野博章 高橋喜郎		担当教員 実務経験	株式会社ハッチ所属。ミュージックビデオ、パッケージDVD、舞台DVD演出等のプロデュース/ディレクションを多数手がける。（水野） (有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集に、プロモーション従事。（高橋）			
授業概要	グループ活動でのそれぞれの役割を理解し映像制作を行う						
到達目標	企画書やシナリオをグループ内で話し合い、作品を制作する中で制作ノウハウや撮影技術全般を習得する						
授業計画 学習内容	・ 授業概要 の説明 映像制作の流れ / シナリオの基礎 / 企画書の書き方 ・ 算・スケジュール・キャスティング・ロケ地について ・ 香盤表および撮影スケジュールの組み方 ・ 撮影/照明機材についての基礎レクチャー 各種機材の説明・取り扱いについて ・ 編集およびMA作業を行を完パケフォーマットにする						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品出来栄えおよびレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	PAシステムⅡ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	小松久明		担当教員 実務経験	PAエンジニア／サウンドデザイナーとして アーティストのライブ音響を多数手掛ける。			
授業概要	録音された音源を使い、アナログコンソールとデジタルコンソールのミキシング手法を学ぶ。 基本的な各楽器へのイコライゼーション、ボーカルへのエフェクターのアプローチを学ぶ。						
到達目標	良い音、素晴らしいミキシングを完成するよりも、音を扱う楽しさ、ミキシングの難しさを体験してもらい、ミキシングコンソールに対する理解を深める。						
授業計画 学習内容	1, ドラム、ベースのリズム楽器へのイコライゼーション、バランスの作り方 2, ギターのイコライゼーション、バンドミキシングのアプローチ 3, ボーカルのイコライゼーション、エフェクター（Reverb）の使い方。						
成績評価 方法	100点を満点とし、授業への参加姿勢およびレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ホールSR II				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	26	単位	1
担当教員	大坪宏昌		担当教員 実務経験	コンサート音響、企業カンファレンスや展示会など様々な音響現場のオペレートやシステム設計に携わる。Leisurely Sound代表。			
授業概要	デジタルコンソールを使用し、ホールでの音響機材設置および実際の業務を想定した音響作業を、演習授業を通じて体験する						
到達目標	ホールにおける音響機材の安全な設置方法、デジタルコンソールを使用したオペレート作業の習得						
授業計画 学習内容	・オリエンテーション ・機材プランニング ・資料作成 ・学内施設でのシステム確認 ・ホール演習（機材設置・FOHおよびモニターエンジニアの体験・アコースティックの生演奏をライブミキシング）						
成績評価 方法	100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅢ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	高橋喜朗ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	1年次授業の演習・実習内容と施設・機材の使用法を復習し、応用的な音響/映像/機材やPCソフトウェアの使用法をさらに学ぶ。						
到達目標	ソフトウェア等と専門機器それぞれを理解し、それらを組み合わせたシステム構築と使用法を習得する。						
授業計画 学習内容	PCソフトウェア種類説明 ・ photoshop ・ illustrator ・ ProTools ・ premiere pro ・ Media Encoder 学内スタジオ機器説明 ・ 音響ミキシングコンソール(アナログ卓・デジタル卓・タブレット/PC型) ・ 映像収録用カメラ/照明機材の種類について ・ 撮影素材のデータ変換および取込みの方法 映像作品の制作実施 ・ コンクール用ショート映像コンテンツ						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 プロモーション音源制作Ⅱ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	見上陽一郎ほか		担当教員 実務経験	1995年より多数のクラシック音楽を録音			
授業概要	外部から委託されたコンクール応募用音源の収録、ミックス、編集、納品						
到達目標	音声／動画収録、ポストプロダクションのノウハウと同時に、演奏家が安心して演奏に集中できる雰囲気 の作り方も身につける						
授業計画 学習内容	(1) 収録システムプラン作成 (2) 仕込み (3) 収録／ミックス (4) 必要に応じて編集 (5) マスタリング／オーサリング (6) 納品						
成績評価 方法	100点を満点とし、取り組みの様子、提出物の出来栄えおよび出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	演習 音芸オリエンテーション				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	30	単位	2
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	1・2年生合同の班編成で各コンテンツをローテーションで受講する。(コンテンツ内容及び担当教員は授業計画学習内容参照)						
到達目標	・学年、学科の枠をこえて学内で学生同士がつながりを持てるようにする ・先輩、後輩間に「教え・教えられ」の関係が生まれるきっかけの場の提供 ・多様なコンテンツを通じて音響技術、技能習得へのモチベーションを高める						
授業計画 学習内容	見上…『エコーチェンバー』教室を使って反響音を作り出す 楠元…『ビートメイク』身近な音を加工、編集してビートを作ってみる 波多腰…『テーブルコーダー』オープンリールの操作、録音、再生を体験☑ 高橋…『タテ動画+アフレコ』動画撮影してアフレコ 溝淵…『ライブハウス∞体験』音響、照明、出演の体験 近藤…『吹奏楽比較試聴』コンクールの演奏を聴き、違いについて話し合う 芹沢…『Live2D制作』Live2Dを使って静止画を動かす体験						
成績評価 方法	100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ビジネス実務				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	就職活動や就業時のマナー、書類作成に関するスキルの向上をはかる						
到達目標	基礎的なビジネスマナーの習得						
授業計画 学習内容	・採用担当が就活生に求めるものとは ・自己分析 ・自己PRとは ・ビジネスメールのマナー ・電話対応のマナー ・模擬作文試験 ・ポートフォリオ作成						
成績評価 方法	100点を満点とし、授業への参加姿勢・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	卒業制作				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	592	単位	25
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	これまで学んできた知識や技術を生かし、自信が主体となり作品を作り上げる。						
到達目標	作品を企画から制作し、完成させる。						
授業計画 学習内容	・ 作品の研究と分析 ・ 企画立案と企画書作成 ・ 構成・脚本・制作意図について ・ 作品制作、発表へ向けての準備 ・ YouTubeをプラットフォームとし、動画作品をオンライン発表						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	—
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新学年オリエンテーション（シラバス／学則の説明など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する説明など						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ライブレコーディング				授業方法	演習	
開講年次	3年次	開講時期	前期	授業時数	60	単位	2
担当教員	見上陽一郎 楠元剛史		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画欄に記載			
授業概要	ライブコンサートの録音、編集、マスタリング						
到達目標	ライブレコーディングの機材準備、設営手順や注意点、実際の収録、ポストプロダクション業務を主体的に行える知識と技術を身につける						
授業計画 学習内容	(1) 収録音響プランの作成 (2) 収録機材準備 (3) 機材搬入～設営 (4) サウンドチェック (5) 収録 (6) 機材撤収～搬出 (7) 機材戻し (8) ミックス (9) マスタリング (10) 納品 担当教員の実務経験： 1995年より多数のクラシック音楽を録音(見上) 2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務（楠元）						
成績評価 方法	100点を満点とし、参加姿勢および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	音響コーチング演習				授業方法	演習	
開講年次	3年次	開講時期	前期	授業時数	32	単位	2
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～ 2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務			
授業概要	1、2年生の授業の助手を務める						
到達目標	初心者、初級者を対象とした指導における効果的なコーチング技法を身につける						
授業計画 学習内容	指導担当教員の指導のもと、PA/レコーディング系の演習や実習科目に助手として参加する。						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	実習 課題レコーディング				授業方法	演習	
開講年次	3年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	外来ミュージシャンのレコーディングを学生主体で行う。						
到達目標	学生主体でレコーディング作業を遅滞なく行える						
授業計画 学習内容	9Fスタジオを用いた実践的なレコーディング演習。						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	ポートフォリオ制作				授業方法	実習	
開講年次	3年次	開講時期	前期	授業時数	240	単位	8
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	これまでの学びの成果をまとめ、自己評価する。						
到達目標	改善点を発見し、今後に活かすことに気づく。内容について深く振り返る。 新たなアイデアや計画を生み出すきっかけになると気づく。						
授業計画 学習内容	・学習の成果物(ノート、プリント、メモ、レポート、テストなど)をまとめる ・より深く学びたい内容を研究課題として取り組み、あらたな成果物とする。						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・合評内容および提出物の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	3年次	開講時期	前・後期	授業時数	8	単位	－
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	－			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新学年オリエンテーション（シラバス／学則の説明など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する説明など						
成績評価 方法	－						